



草と向き合う 田んぼの達人集合

第7回 田の草フォーラム in 東京

田の草フォーラムは2004年、除草剤などの農薬・化学肥料を使わず、環境を取り戻す田んぼを作ってくれている農家が悩む最大の問題である田の草、この苦勞を少しでも軽減したいという思いで始めました。この12年間で、かなりレベルアップした農家もある反面、まだまだ草に困り続けている農家もたくさんあります。きっと、まだまだ草や自然から受け取らなければならない情報がたくさんあるのだと思います。今回は根本からもう一度見直す会にするつもりです。参加者が参加してよかったと思うような、第7回田の草フォーラムにしたいと思っております。

今回も自然農法センターや民間稲作研究所のご紹介や、農家からのリクエストに添えて、気象条件も土壌も周辺環境も全く違う田んぼで無農薬栽培をがんばっている田んぼの達人や田の草卒業生、また田んぼの恐るべき生産力を引き出す農家など、数多く登場します。

田の草フォーラムは命を優先する農家と消費者が力を合わせ、生きる環境と安全な食料に困らない日本を次世代に残すために集まるすがすがしい会です。思いを同じにするみなさん！立場を超えて繋がりませんか。



- 日時：2017年 1月 28日(土) 13:00集合 13:30開始
29日(日) 11:50終了
- 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター/ 1日目センター棟 402, 2日目センター棟 101
(東京都渋谷区代々木神園町 3-1 TEL: 03-3469-2525)
- 交通：電車：小田急線各駅停車 参宮橋(新宿から2駅目) 徒歩7分
車：首都高速4号線代々木出口近く正門を通り過ぎて地下駐車場あり
- 費用：12,000円(参加費、資料代、宿泊費、夕食+交流会費、朝食)
宿泊しない方7,300円(参加費、資料代、夕食+交流会費)
2日目8時半からの研修とゲスト講演のみ参加 会員1500円、一般2000円

実践農家の発表内容紹介

●寒冷地で泥炭など不利な条件を整えて42町歩の大規模有機農業(宮城県美里町) ●地下水が高く乾かない田んぼで複数の抑草技術の積み重ねで草と戦わない米作り(千葉県匝瑳市) ●富山の自然と生きもののリズムに合わせた米づくり(富山県富山市) ●2年3作、2回代かきなど草対策の多様性(栃木県塩谷町) ●草のリズムに合わせた田植えでクログワイもうまくいく(栃木県大田原市) ●田んぼは氾濫原/自然の営みに添わせる山形の佐藤秀雄田の報告(新潟県佐渡市) ●田んぼが生み出す莫大なエネルギーを攪拌する(山形県酒田市) ●冬・草・田んぼ・基盤整備後1から始める課題に取り組む(栃木県野木町) など盛りだくさん!

1日目のコメンテーター/2日目の研修講師

稲葉光國 NPO法人民間稲作研究所理事長 除草剤を使わない稲作りの第一人者。様々な抑草法を提案、指導している。
岩石真嗣 (公財)自然農法国際研究開発センター 自然農法の立場から、各地でたくさんの実験と検証をしている。

2日目講師と発表者全員によるパネルディスカッションで頭をシャッフルする面白い時間あります!

参加申し込み (FAX 0422-70-6648 メダカのがっこう事務局)				
お名前 (ふりがな)	男 女	携帯	FAX	
ご住所 〒	提出する宿泊名簿に必要なため、年齢のご記入をお願いします。		_____ 歳	
E-mail	○印	人数	小計	
フォーラム全参加 (1人12,000円) 参加費、資料代、夕食、交流会、宿泊代、朝食、昼食				
宿泊しない方 (1人7,300円) 参加費、資料代、夕食、交流会				
2日目講師研修とゲスト講演のみ参加 (1人 メダカ会員1,500円、一般2,000円)				
交通	・マイカー _____ 台	合計		
○印	地下駐車場 8hまで300円/h, 以降100円/h			
宿泊、食事の予約がありますので振込が済んだ段階で、申込終了とさせていただきます。(1/20×切) 問合せ メダカのがっこう事務局 0422-70-6647 振込先 みずほ銀行 西荻窪支店 普通 2158356 特定非営利活動法人メダカのがっこう				

第1日目(1月28日/土)

* 研修会場…センター棟 402 会議室 *

13:00 受付開始

司会進行 : 根本伸一

13:30 開会あいさつ

中村陽子

第1部【田の草対応・実践農家からの報告】

13:35~14:05 ① 佐藤真吾(千葉県県匝瑳市)
“複数の抑草技術の積み重ねで草と戦わない米づくり”

14:10~14:40 ② 安部陽一・陽介(宮城県美里町)
“泥炭など不利な条件を整えて42町歩の大規模有機栽培”

14:45~15:15 ③ 水口博(栃木県大田原市)
“草のリズムに合わせた田植えでクログワイもうまくいく”

15:20~15:50 ④ 大久保純一(富山県富山市)
“富山の自然と生きものリズムに合わせた米づくり”

休憩タイム

16:10~16:40 ⑤ 杉山修一(栃木県塩谷町)
“深水代かきと深水田植えは生きものたちに優しい”

16:45~17:15 ⑥ 舘野廣幸(栃木県野木町)
“冬・草・田んぼ—基盤整備後の1からのスタート”

17:20~17:50 ⑦ 斉藤真一郎(新潟県佐渡市)
“草を活かしきる自然栽培”(山形の佐藤秀雄田の報告)

17:55~18:25 ⑧ 荒生秀紀(山形県酒田市)
“田んぼが生み出す莫大なエネルギーを攪拌する”

18:25~18:55 本日の発表の質疑応答

コメンテーター

岩石真嗣(自然農法国際研究開発センター)

稲葉光國(NPO法人民間稲作研究所理事長)

19:00~ **宿泊** 予定者はチェックイン**A棟 B棟、C棟**の鍵とシーツ・枕カバーの受け取り、部屋確認

* オリンピックの選手村の後利用のため、お部屋は4人か2人部屋で全てセルフサービスです。ベットメイキングなどご自分でお願ひします。「おもてなし」ができなくて申し訳ありません。

* **夕食交流会会場…カルチャー棟 レストランとき ***

19:30~21:30 夕食と交流会…バイキング形式で飲み放題のプランです。

全国から集まった変人と思いきり交流しましょう。

* 各自宿泊棟に帰ってお風呂(23:30まで)、就寝、歓談などご自由に。(談話コーナーあり、利用後清掃と整頓お願ひします。)

第2日目 1月29日/日

* 朝食会場…センター棟2階カフェテリアふじ *

7:00~7:45 朝食(食券は前もってお渡しします)

* 朝食後、部屋を掃除、整頓、シーツ類返却後、部屋を空けて荷物をまとめて、8:30までに2日目の会場に移動。

* 研修会場…センター棟 101 会議室 *

★昨日の会議室と違うので注意!!★

8:10 受付開始(2日目のみ参加の方)

第2部【田の草研修とパネルディスカッション】

8:40~9:35 自然と戦わない田の草防除
~世界からWARをなくす農法~ 岩石 真嗣

9:40~10:35 除草剤を使わない稲作り・最新研究
稲葉光國

10:40~11:40 講師・発表者全員による
パネルディスカッション

11:40~11:50 質疑応答

11:50 閉会のあいさつ 中村陽子

11:55 解散

講師陣プロフィール

稲葉光國 NPO法人民間稲作研究所理事長

成苗二本植。二回代かきによる草対策の指導者。健康な苗づくりで草にも病虫害にも負けない稲づくりを提唱。米、大豆、小麦、油(菜種、向日葵)など、基本食糧の自給率を上げる日本の農業の形を提案。第1回田の草フォーラムからの協力共催者。



岩石真嗣 (財)自然農法国際研究開発センター研究部

自然農法センターでは毎年稲作の交流研究会を開き、技術の向上を図っているが、その中でも稲作期間中に、稲のやる気を出し、草のやる気をなくす田んぼづくりの研究の第一人者である。ブルースリーに似ているカッコよさと優しい笑顔が魅力的。第1回田の草フォーラムからの協力共催者。

